

第 77 回 火力専門委員会 溶接分科会 議事録

- I. 日 時：2017 年 11 月 14 日（火） 13 時 30 分～17 時 50 分
- II. 場 所：東京大学工学部 3 号館 424 会議室
- III. 出席者：青山(東大)、樺田(MHPS)、幅野(IHI)、長谷川(発電技検)、原田(東芝)、
水谷(東工大)、飯田(東電 FP)、逢澤(MHPS 日立)、飯島(日溶協)、
大橋(中電)、堀(関電)
- 欠 席：山下(神鋼)、倉富(東電 FP)
- 代理出席：なし
- オブザーバー：なし
- 事務局：原

IV. 配付資料

- 77-1 第 76 回溶接分科会議事録(案)
- 77-2 溶接分科会委員名簿
- 77-3 火力専門委員会書面投票 No.72(火力専門委員会委員長選任)結果報告
- 77-4 用語集(配布なし)
- 77-5-1 レビュー票(ダブルチェック結果反映、発電技検)
- 77-5-2 レビュー票(ダブルチェック結果反映、MHPS 日立)
- 77-5-3 レビュー票(ダブルチェック結果反映、関西電力)
- 77-5-4 アーティクル 7 磁粉探傷用語について(日本溶接協会)
- 77-6-1 新旧対比表(発電技検)
- 77-6-2 新旧対比表(東芝)
- 77-6-3 新旧対比表(中部電力)
- 77-6-4 新旧対比表(日本溶接協会)
- 77-6-5 新旧対比表(東芝)
- 77-6-6 新旧対比表(関西電力)
- 77-6-7 新旧対比表(MHPS)
- 77-6-8 新旧対比表(IHI)
- 77-6-9 新旧対比表(東電 FP)
- 77-6-10 新旧対比表(関西電力)
- 77-7 審議履歴表
- 77-8 新旧対比表の記載方法・書式の再確認
- 77-9 火力専門委員会での規格改訂提案資料について

V. 議事

1. 前回議事録確認

[資料 77-1]

前回議事録(案)について確認を行い、議事録(案)が承認された。

- ・3 ページ 1 行目 Z2305 → JIS Z2305 とする。

2. 分科会委員・役員の承認

[資料 77-2]

退任委員、新任委員候補、再任委員候補はなし。

3. 報告事項

(1) 火力専門委員会書面投票 No.72（委員長選任）結果報告

[資料 77-3]

火力専門委員会委員長選任の書面投票の結果、三原委員が選任（2期目）されたことが報告された。

(2) 公衆審査（2017 追補、事例規格）結果報告

公衆審査（2017 追補、事例規格）の結果（ご意見なし）が報告された。

4. 審議事項

(1) 用語集の確認

新たな追記・変更箇所はなし。

(2) レビュー票ダブルチェック結果反映

1) 第Ⅵ章 アーティクル 1

[資料 77-5-1]

長谷川委員から、前回のコメントを反映したレビュー票について説明があり、審議を行った。

○T-120.1 (b)

・ASME Section V Subsection B は、ASME の正式名を確認して見直す。

○T-120.1 注記

（注 a）、（注 b）は削除し、該当する内容を補遺に記載する。

2) 第Ⅵ章 アーティクル 4

逢澤委員から、前回のコメントを反映したレビュー票について説明があり、審議を行った。

○T-450

二振動子以上の探触子 → 三つ以上の振動子を持つ探触子

○K-490

「2.5mm 単位」は、JIS（Z3060）では 1mm であることを考慮し、「2.5mm 以下」などに修正する。また、この補足説明を補遺に記載する。

○図 G-461.(a)

・図のタイトル 臨海 → 臨界

・曲線の説明 Bの説明の位置が、スペース1つ分ずれているので修正する。

3) 第Ⅶ章 アーティクル I

堀委員から、前回のコメントを反映したレビュー票について説明があり、審議を行った。

○QW-197.1.1

切断面 → 断面

4) 第Ⅵ章 アーティクル 7

飯島委員から、磁粉探傷試験に係る用語と「人工きずシム」の寸法表示について説明があり、提案どおりとすることを確認した。

(3)新旧対比表

1)標準的な記載方法の再確認

[資料 77-8]

新旧対比表の標準的な記載方法の再確認のため、樺田副主査が記載方法について説明し、以下の事項を確認した。

- ①タイトル行の改訂前の名称は、2012 年版（2015 年追補、2017 年追補を含む）とする。レビュー票については、対応は不要とする。
- ②改訂により削除された箇所については、改訂前の欄にその部分を記載し、下線を引くとともに、赤字とする。
- ③標準書式のタイトル行の下にあった、1 2 3・・・901 は、1 行の文字数が分かるように記載しただけなので、新旧対比表の作成に当たっては記載しない。
- ④変更が無い箇所については、改訂内容の欄に（現状通り）を記載する。
- ⑤図や表などで規定フォーマットでの対比が難しい場合、書式にこだわらずに、改訂前と改訂後が分かればよい。

2) 第Ⅵ章 アーティクル 1（発電技検）

[資料 77-6-1]

前回分科会で全体的な確認を実施しているため、新旧対比表の記載方法通りになっているかについて、担当委員が分科会内で確認を行った。今回分科会でも変更が出ているので、その点を反映することを確認した。

3) 第Ⅵ章 アーティクル 2（東芝）

[資料 77-6-2]

- 改訂前の欄も、変更箇所は下線、赤字とする。
- Ⅶ-276.3
 - ・改訂内容の欄に、②ASME の SI の採用を追加する。

4) 第Ⅵ章 アーティクル 6（中部電力）

[資料 77-6-3]

前回のコメント反映については分科会内で確認。前回分科会で全体的な確認を実施しているため、新旧対比表の記載方法通りになっているかについて、担当委員が分科会内で確認を行った。

5) 第Ⅵ章 アーティクル 7（日本溶接協会）

[資料 77-6-4]

前回のコメント反映については分科会内で確認。前回分科会で全体的な確認を実施しているため、新旧対比表の記載方法通りになっているかについて、担当委員が分科会内で確認を行った。

JIS 用語に従うと interpretation は判別となるが文意からすると解釈が妥当であると判断した。JIS 用語では interpretation は判別となるが文意からすると解釈が妥当であると判断し採用したことを、資料をもとに説明し了解された。

原則として用語集に基づいて原稿を作成するが、ASME 原文の単語の意味をすべて

網羅することが難しい単語もあるため、その場合には状況に合わせて適宜理解しやすい文言を選定することも了解された。

6) 第Ⅵ章 アーティクル 9（東芝） [資料 77-6-5]

○改訂前の欄も、変更箇所は下線、赤字とする。

7) 第Ⅶ章 アーティクル I（関西電力） [資料 77-6-6]

前回のコメント反映については分科会内で確認。前回分科会で全体的な確認を実施しているため、新旧対比表の記載方法通りになっているかについて、担当委員が分科会内で確認を行った。

8) 第Ⅶ章 アーティクル II（MHPS） [資料 77-6-7]

前回のコメント反映については分科会内で確認。前回分科会で全体的な確認を実施しているため、新旧対比表の記載方法通りになっているかについて、担当委員が分科会内で確認を行った。

9) 第Ⅶ章 アーティクル III（IHI） [資料 77-6-8]

○QW-304.2 と QW-305.2 のタイトル

・放射線透過試験基準 → 試験基準

10) 第Ⅶ章 アーティクル IV 前半（東電 FP） [資料 77-6-9]

倉富委員が欠席のため、未確認。

11) 第Ⅶ章 APPENDIX I（関西電力） [資料 77-6-10]

前回のコメント反映については分科会内で確認。前回分科会で全体的な確認を実施しているため、新旧対比表の記載方法通りになっているかについて、担当委員が分科会内で確認を行った。

(4) 改訂提案資料の構成について

事務局が「改訂提案資料の構成」の素案を説明した。

○レビュー票について

- ・書面投票において、委員の方に参考資料として見ていただくレビュー票については、現状は CS キャビネットの資料の保存場所が階層の深いところにあるため、書面投票閲覧用に別のフォルダを設置して、そこに保存することとする。
- ・書面投票の時期が近付いたら、事務局が書面投票閲覧用のフォルダを設置することで、そこに各委員が閲覧用のレビュー票（確定版）を保存することとした。

(5) 201X 年版改訂提案に向けた今後の進め方

○既に分科会において審議済みの新旧対比表は、コメントおよび記載方法の再確認内容などを反映させ、それを所定のフォルダ（下記に記載）に保存する。

溶接分科会/O2 規格原稿案・レビュー票案/TA1・2 詳細規定案/第Ⅵ章 or Ⅶ章/
各アーティクル/O3_新旧対比表

- 作業中の新旧対比表（第Ⅵ章 アーティクル2（図表）、アーティクル4、第Ⅶ章
アーティクルⅣ QW-470～、APPENDIX B）は、担当委員が12月20日（水）
までに作成し、分科会三役および事務局にメールにて送付する。これを、各委員が
確認できるよう事務局が各委員に送付する。（分科会各委員は送付された内容を次回
分科会までに確認し、意見などがあれば担当委員、三役、事務局にその内容を連絡
する。）
- 2月下旬に予定されている火力専門委員会で、改訂を提案することを目標とする。
（少なくともどちらかの章）次回の分科会（2／5）で、提案資料一式を確認できる
よう準備を進める。

Ⅵ. 次回開催予定

- ・日時：2018年2月5日（月） 13時30分～
- ・場所：日本機械学会3・4会議室

以 上